

Ping Chong (ピン・チョン) 氏講演会 報告

2018年12月18日(火)の午後5時より、人文学研究科 B132 教室(視聴覚教室)にて、ニューヨークを中心として世界で活躍している演劇・映像アーティスト Ping Chong (ピン・チョン) 氏をお招きし、講演会を開催しました。演出家、振付家、映像アーティストで Ping Chong + Company 創設者である Ping Chong 氏は、National Medal of Arts (米国国家芸術勲章)のほか、BESSIE 賞(ニューヨーク・ダンスパフォーマンス賞)、OBIE 賞(米国オフ・ブロードウェイ演劇賞)などの受賞歴もある世界的アーティストです。

今回の講演「ピン・チョン—ニューヨークのアジア系アメリカ人演劇アーティスト」(“An Asian American Theater Artist in New York City”)とは、ご自身のアジア系アメリカ人としての芸術活動に基づき、実際の舞台の写真や動画映像を使って、ご講演いただきました。科研プロジェクトの一環として講演会でしたが、雪村加世子・留学生担当講師の「グローバル人文学特殊講義」の授業とコラボレーションし、その受講生の大多数を占める外国人留学生たちも、自身の日本での異文化体験なども相俟って大変興味を持って聞いていました。講演会の最後に、Ping Chong 氏を囲んで記念写真を撮った後、会場に残って質問や意見交換をするなど、参加者たちはそれぞれ大変有意義な時間を過ごしました。

なお、Ping Chong 氏のドキュメンタリー・シアター『生きづらさを抱える人たちの物語』(“Undesirable Elements”)は、日本財団“Diversity in the Art”プロジェクトの女性を受けて、東京(2019/1/18~20)および大阪(1/26~27)で上演予定です。

(文責：人文学研究科 山本秀行)

